

令和6年5月10日

## 令和6年度 学校関係者評価報告書

学校法人 立志舎  
東京法律公務員専門学校名古屋校  
学校関係者評価委員会

自己点検・自己評価実施委員会が作成した「令和5年度自己評価表」を基に学校関係者評価を行いました。その結果を以下の通り報告いたします。

### 1. 令和6年度 学校関係者評価委員会

<委員> (五十音順)

奥村 哲也 氏 清須市危機管理部危機管理課  
松木 政憲 氏 防衛省自衛隊愛知地方協力本部名古屋出張所 所長 一等陸尉

<事務局>

澁澤 太一 東京法律公務員専門学校名古屋校 校長  
貝田 充郎 東京法律公務員専門学校名古屋校 教務部課長  
岡本 真之助 東京法律公務員専門学校名古屋校 教務部課長

### 2. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

項目	評価・意見
基準1 教育理念・目標	<p><b>イ. 教育理念、目的、育成人材像について定められているか</b></p> <p>教育基本法の本質に則り、学校教育法に準じ、人格の陶冶と法律、行政及びビジネスに関する正しい知識を身につけ、日本経済の発展に貢献できる人材の育成を目的とする。</p> <p><b>ロ. 学校教育における職業教育の特色は何か</b></p> <p>国家公務員・地方公務員の行政職、及び警察官・消防官・自衛官などの公安職に毎年採用されていること、また、民間企業就職内定率が高いことである。これは本学独自の教育システムである「ゼミ学習」によるところが非常に大きい。今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類に緩和されたことで、「ゼミ学習」を従来の形で行い、高い合格実績をあげることができた。</p> <p><b>ハ. 教育理念、目的、育成人材、特色が学生や保護者などに周知されているか</b></p> <p>学園の基本目標として、「学生から信頼され支持される学校づくり」を掲げ、受付や教務室、就職相談室などにも掲示し、教職員一丸となって取り組んでいる。これら理念・目的・育成人材像、そして「ゼミ学習」による授業運営については教職員に周知徹底し、また、入学希望者にはオープンキャンパス等でわかりやすく説明し</p>

	<p>ている。</p> <p><b>ニ. 各学科の教育目標、育成人材像は業界ニーズに向けられているか</b></p> <p>本学独自の教育システムである「ゼミ学習」によって、各学科の目標とする公務員採用試験や検定試験等に高い合格実績をあげることができている。また、年2回開催する官公庁説明会や教育課程編成委員会を通じて業界の方々からの意見を取り入れてカリキュラム編成を行っている。</p> <p>以上について、基準についての自己評価は委員からは「妥当」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 現在、オンライン授業は実施しているのか。</p> <p>【回答】現在、オンライン授業は基本的に実施していない。講座が諸事情で休校になった場合、Microsoft の Teams を利用しオンライン授業を実施している。また、LMS(学習管理システム)を導入し、学生の学習環境を整えている。なお、現在、科目別の講義動画作成に取り組んでおり、教材の充実を図っている。</p> <p>(2) 基本目標が受付や教務室・事務室など、目に届きやすいところに掲示してあるが、どのように教職員の目標達成に対する意識を向上させているのか。</p> <p>【回答】教職員に目標を意識してもらうように職員間で密にコミュニケーションをとっている。</p>
<p>基準2 学校運営</p>	<p><b>イ. 目標に沿った運営方針が策定されているか</b></p> <p>「学生から信頼され支持される学校づくり」を学園の基本目標としている。この基本目標をいかに達成するか、教務会議では頻繁に取り上げている。学園の基本目標は、教務室、事務室、就職相談室、受付などに掲示している。</p> <p><b>ロ. 運営組織や意思決定機能は規則などにおいて明確化され機能しているか</b></p> <p>運営組織図に従って運営されている。各部署の数値目標が明確にされており、各部署の役割と権限、人的体制が十分に整っている。運営組織や意思決定機能は効率的なものになっている。</p> <p><b>ハ. 人事制度や組織整備がなされているか</b></p> <p>採用制度、昇進・昇給制度、賃金制度、人事考課制度が整備されている。また、昇進制度や人事考課制度については年度ごとに見直しを図っている。</p> <p><b>ニ. 教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか</b></p> <p>日常的な意思決定は、管理職がしている。学校間の調整は学園本部または部次長会議で行っている。理事会、評議員会、責任者会議、課会議、公務員企画会議といった意思決定プロセスが制度化され、その権限を明確にしており、意思決定システムは確立されている。</p>

	<p><b>ホ. 教育活動に関する情報公開が適切になされているか</b></p> <p>資格取得実績や就職実績は、その都度ホームページで情報公開している。また、信ぴょう性を確保するために本人の了承を得て合格者情報に氏名（またはイニシャル）・出身校名を載せている。志望者や保護者の判断にも役立つと思われる。</p> <p><b>へ. 情報システム化などによる業務の効率化が図られているか</b></p> <p>情報システムについては、学務システム（入試システムおよび学籍管理システム）、経理システムを個々に運用している。なお、就職部は求人情報と学生情報をデータベース化して業務の効率化を図っている。在学生への求人情報の提供、学園が取りまとめる求人をオンライン化し、「民間就職支援ポータルサイト」として運用している。</p> <p>以上について、基準についての自己評価は委員からは「妥当」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>（１）情報データ管理・保全体制に関する教職員の教育はどのようになっているのか。</p> <p>【回答】情報管理・保全に関しての教育は、マニュアルを使用し、管理意識を高めている。IDおよびパスワードの管理、個人情報の扱いなど基本的な管理意識を持たせるように教職員間でチェックしている。今後は、教職員の管理や保全方法など情報リテラシーをさらに高める研修を検討したい。</p> <p>（２）職員の人事評価制度は公正であるか。また職員の採用活動は毎年実施しているのか。</p> <p>【回答】人事制度は公正であるように努めている。採用制度、昇進・昇給制度、賃金制度、人事考課制度が適正に整備されている。さらなる人材育成や優秀な人材登用の充実を図るため、昇進制度や人事考課制度については年度ごとに見直しをしている。採用活動は毎年実施予定であるが、諸般の事情により実施しない場合もありうる。</p>
<p>基準3 教育活動</p>	<p><b>イ. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか</b></p> <p>カリキュラムは教育課程編成委員会での外部委員の意見を参考にカリキュラム作成委員会を開催し、定期的な見直しを行っている。</p> <p><b>ロ. 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関として修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか</b></p> <p>各学科の目標を明確にし、官公庁説明会および学内就職セミナーで、官公庁および企業の人事担当者から回収したアンケート回答を基にした「社会が求める人材像」を学生に明示しており、学生が専門的知識や技術を持った上で、公務員を含め多岐にわたる業界や職種の人材ニーズに対応できる教育を実践している。</p>

#### ハ. 学科などのカリキュラムは体系的に編成されているか

各学科・コースのカリキュラムは、年2回開催する教育課程編成委員会での外部委員の意見を参考に、カリキュラム作成委員会において社会のニーズに対応するために必要な科目を体系的に編成している。また、カリキュラム会議において、各学科で目標とする公務員採用試験合格や資格取得のためのカリキュラムの定期的な見直しを行っている。

#### ニ. キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育の工夫・開発などが実施されているか

専門知識や技術以外にもビジネスマナー、コミュニケーション能力などを育成するキャリア教育を実践するための授業科目を設置し、また官公庁および企業の採用担当者による説明会も実施している。

平成26年度より文部科学大臣が認定する職業実践専門課程制度が発足し、本学2年制の学科はすべて職業実践専門課程の認定を受け、企業・官公庁等と連携した実践的な演習を各学科で行っている。

#### ホ. 授業評価の実施・評価体制はあるか

授業運営の適否を判断し、授業システムの見直しをするため、学生による授業評価アンケートを実施し、授業運営の改善を図っている。

#### ヘ. 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか

学生の成績評価および単位認定については、その基準を明確に定め、学則、専門課程便覧などで学生にも周知徹底し、厳正に行っている。また、成績評価については本学ホームページ上にも公開している。

#### ト. 資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか

各学科で目標とする公務員採用試験を明確に定め、その合格がより確実になるようなカリキュラム編成をしている。そして、試験の都度カリキュラム会議を開き、次回に反映させるようにしている。

#### チ. 人材育成目標に向け、授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか

育成目標に向け授業を行うことができる教員として、専門性、人間性、教授力、必要資格等の諸要件を備えた人材の確保はできている。上記の資質向上のため年間を通じて研修を行い、能力の向上に努めている。

#### リ. 教員の能力開発のための研修などが行われているか

年間を通じての自己啓発や、外部企業等と連携して研修を行っている。

＜研修実績の紹介及び委員の意見＞

教職員の研修において、自衛隊として協力支援できることがある。自衛隊では災害派遣の経験から防災に関して講話が可能である。また、学生指導の方法やモチベーション向上に関する講話も可能である。

	<p>以上について、基準についての自己評価は委員からは「妥当」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 学生指導方法について、工夫していることはあるか。学生へのメンタルケアへの対応はどのように行っているのか。専門のカウンセラー等で対応しているのか。</p> <p>【回答】教職員は、学生と日頃からコミュニケーションチェックシートを使用し、一部の学生だけではなく、クラス内の学生全員との会話を心掛けている。担当クラスの学生だけではなく、多くの学生とコミュニケーションをとるため積極的にあいさつや声掛けを実施している。学生のメンタルケアとして、専門のカウンセラーによる対応はしていない。現在、担任だけで対応するのではなく、ほかの職員も含め学校全体で対応をしている。今後は、メンタルケアの専門家や臨床心理士などの指導や研修を受け、学生対応に活かしたい。</p> <p>(2) 教職員の自己啓発、能力開発などの研修は実施しているのか。</p> <p>【回答】教職員は能力を向上するため、定期的に自己啓発研修を実施している。また、自治体や大学などの外部団体による研修を実施している。</p>
<p>基準4 学修成果</p>	<p><b>イ. 就職率の向上が図られているか</b></p> <p>官公庁等への就職が厳しいと言われている中でも就職実績を上げている。</p> <p><b>ロ. 資格取得率の向上が図られているか</b></p> <p>綿密なカリキュラム編成とゼミ学習を通じた授業運営により、公務員採用試験において高い合格実績を上げている。</p> <p>&lt;法律学科 資格取得・就職実績の紹介&gt;</p> <p>法律学科において、毎年多くの上中級試験の合格者を輩出している実績が評価に値する。今後も多くの合格者を継続して輩出していただきたい。上級職希望の学生を増やすためにも、高校生や高校の教員に対する一層の情報提供があればよい。</p> <p>&lt;法律ビジネス学科 資格取得・就職実績の紹介&gt;</p> <p>法律ビジネス学科において、漢字能力検定・ビジネス能力検定（B検）ジョブパスなどを取り入れている点は評価できる。実務上求められるパソコン使用の基本スキル（Excel・Word）の充実をさらに図ってほしい。</p> <p>&lt;法律社会学科&gt;</p> <p>公安職希望の学生でも行政サービスを提供する仕事であることを忘れないようにするために、職業研究や自治体研究などの職業理解を深める講義をさらに増やしてほしい。また、現職公務員から仕事に関する具体的な説明を受けることで、就職前と就職後の仕事に対する認識の乖離を防いだほうが良い。</p>

	<p><b>ハ. 退学率の低減が図られているか</b></p> <p>退学者を出さないように常に担任が学生に声をかけるようにしている。学生が学校に来ることが楽しくなるように担任が心がけている。またゼミ学習を通して友人を作ることができるように気を配っている。</p> <p>担任以外にも相談できるように学生相談室を設置している。匿名でも、電話でも相談できるようにしている。無断欠席の学生には担任から電話連絡し長期欠席の学生が出ないようにしている。</p> <p>以上について、基準についての自己評価は委員からは「妥当」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 就職活動における自己分析はどのような形で実施しているのか。また、就職率の向上と合わせて就職後の離職を防ぐために取り組んでいることはあるか。</p> <p>【回答】自己分析のために個人の能力や強みを理解する「自己理解セミナー」を実施している。また、職業理解を深め、就職後の離職を防ぐために官公庁説明会や企業説明会などを実施している。</p>
<p>基準5 学生支援</p>	<p><b>イ. 進路・就職に関する支援体制は整備されているか</b></p> <p>公務員就職希望者には、クラス担任が公務員採用試験の出願、受験、面接対策などの指導及び相談を行っている。また、官公庁の人事担当者を招き官公庁説明会を実施している。民間企業就職希望者には、就職相談室を設け、就職担当者及びクラス担任が就職相談、履歴書の書き方、就職先の選択、会社訪問、面接対策などの指導を行っている。また、企業の人事担当者を招いての学内就職セミナーを実施している。</p> <p><b>ロ. 学生相談に関する体制は整備されているか</b></p> <p>学生は、様々な悩みを持っており、それらの相談はまずクラス担任にする。担任に話せない事柄がある場合、学生相談室が設けられているので、学生は相談室の担当者に相談をしている。</p> <p><b>ハ. 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか</b></p> <p>経済的側面に対する支援のため、特別奨学生試験や経済的理由による修学支援奨学生制度、各種特待生制度を設けている。これらは貸与ではなく給付である。</p> <p><b>ニ. 学生の健康を担う管理体制はあるか</b></p> <p>学生の健康管理のため、学校保健安全法に基づく健康診断を全学生に実施しており、指定病院が学生の健康相談などに応じている。</p> <p><b>ホ. 課外活動に対する支援体制は整備されているか</b></p> <p>野球部、サッカー部、バスケットボール部、バレーボール部、テニス部などのクラブ活動や、体育祭、学園祭、球技大会などの学園行事が盛んである。これらは学生主体で実施し、教職員が助言、指導をしている。</p>

	<p>へ. <b>学生の生活環境への支援は行われているか</b>  学生寮運営に実績のある会社の寮を学校提携寮として学生に紹介している。</p> <p>ト. <b>保護者と適切に連携しているか</b>  学生に対して適切な指導、相談を行うためにも、出席状況、成績表を年2回、相談室のお知らせ等を年に4回保護者に送付している。また、必要に応じて保護者と面談をし、学生の指導に役立っている。</p> <p>チ. <b>高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか</b>  「高校生への就職を応援します」と銘打ち、無料で教師対象就職・公務員試験指導者セミナー、高校生対象公務員講座などを開催し、多くの教師及び高校生に参加してもらっている。</p> <p>以上について、基準についての自己評価は委員からは「妥当」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 保護者との連携は取れているのか。また、電話などでの相談は受けているのか。  【回答】 学生への適切な指導のため、ご家族や保護者に対して出席状況、成績表、学生相談室・就職相談室のお知らせ等を送付している。また、学生の出席状況や学習状況に悪化が見られた場合は、学校側から保護者へ電話連絡を取り、細やかな対応を心掛けている。保護者からの問い合わせに対して、担任だけでなく他の教職員も含め学校全体で対応している。</p>
<p>基準6 教育環境</p>	<p>イ. <b>施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか</b>  設置基準に基づき教室、演習室、教務室、事務室などを設置している。維持管理については定期的な点検整備を行っている。施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるように整備されている。新校舎が令和5年12月に完成した。トレーニングルームとコンピュータールームに最新の機器を導入している。</p> <p>ロ. <b>防災に対する体制は整備されているか</b>  学校保健安全計画を作成し、防災指導担当者を校務分掌一覧に規定し、定期的に防災訓練を実施し、教職員、学生に防災に対する意識の喚起を行っている。危機管理マニュアルを整備し、教職員に周知徹底を図っている。</p> <p>以上について、基準についての自己評価は委員からは「妥当」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 防災意識をさらに高めるための職員・学生の研修は実施しているのか。</p>

	<p>【回答】防災意識を高める呼びかけをしたり、学園内の各フロアに防災マップを掲示したりしている。また、自衛隊広報官の方の協力を得て、ハザードマップを利用した防災指導講座を実施している。学生だけでなく職員の防災意識を高める活動ができています。</p>
<p>基準7 学生の受け入れ募集</p>	<p><b>イ. 学生募集活動は適正に行われているか</b>      入学案内書やガイドブック作成にあたってはその内容や表現において真実性、明瞭性また法令遵守が必要であることを認識し、広報を中心に作成している。そのため具体的な数字を示すことや合格者を公表することにより志望者や保護者の方からの信頼が得られる内容になっている。</p> <p><b>ロ. 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか</b>      公務員合格者一覧・民間企業就職一覧に、本人の了承を得て、採用試験名・企業名・氏名（イニシャル）・出身校名を掲載している。入学者に対するアンケートの中で、本学の卒業生の活躍が進路を決定する上で大いに参考になったとの数多くの回答を得ていることから、志望者や保護者の判断に役立つものであると考える。</p> <p><b>ハ. 学納金は妥当なものとなっているか</b>      学納金に関しては学校の財政基盤の問題が出ないように適正かつ妥当な金額に設定されている。</p> <p>以上について、基準についての自己評価は委員からは「妥当」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 高校生のゼミ学習体験や授業参加はできるのか。平日に実際の授業参加や見学はできないのか。  <b>【回答】</b>毎週日曜日に実施しているオープンキャンパスにおいてゼミ学習体験および模擬授業を実施している。授業は原則平日に実施しているため、平日の授業参加は困難であるが見学は受け入れている。</p> <p>(2) LINE を利用した情報提供の内容はどのようなものであるか、また、情報管理はどうしているのか。  <b>【回答】</b>LINE に関しては、公式のアカウントを設けて一部の職員が管理している。個人情報保護法に基づき、生徒から必要な情報のみ収集している。また、生徒に有益となる無料講座情報、学校情報等を発信している。</p>
<p>基準8 財務</p>	<p><b>イ. 中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか</b>      事業活動収支差額の状況、主要な貸借対照表比率等から判断するに、今後、財務基盤の安定化にさらに努めていく必要がある。</p> <p><b>ロ. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか</b>      年度予算編成にあたっては学納金収入等の状況を見て予算配分可能額を設定している。中期的な入学者数の予測と事業計画との整合性が十分にとれた実効性のある中期計画を策定していきたい。</p>



	<p><b>ハ. 財務について会計監査が適正に行われているか</b></p> <p>年間スケジュール表に基づき、監査法人の公認会計士による監査が適時実施されている。</p> <p><b>ニ. 財務情報公開の体制整備はできているか</b></p> <p>私立学校法に基づき、財務情報として財産目録、貸借対照表、収支計算書、事業報告書、監事監査報告書を作成し公開している。さらにホームページ上では事業の概要、財産目録、資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表を公開している。在学生、その他利害関係者から情報公開の請求があった場合には個別に対応している。</p> <p>以上について、基準についての自己評価は委員からは「妥当」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 財政基盤の安定化を図るために、予算の編成及び執行が適正な手続きで行われていることは評価できる。財務情報のさらなる詳細の公表はできないのか。</p> <p>【回答】ホームページでは、現在、事業概要、財産目録、資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表を公開している。さらなる詳細項目について公開することに関しては、考えてはいない。</p>
<p>基準9 法令等の遵守</p>	<p><b>イ. 法令、専修学校設置基準などの遵守と適正な運営がなされているか</b></p> <p>「学生から信頼され支持される学校づくり」を基本目標に、教職員には必要に応じて研修等への派遣、資料配布などを行っている。法令、設置基準を遵守するための施策として法令遵守規程を作成し実施している。また、法令遵守推進管理者をおき、法令遵守の推進を図っている。</p> <p><b>ロ. 個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか</b></p> <p>個人情報保護に関しては、個人情報保護規程、プライバシーポリシーを設定している。学校の保有する情報を委託業者に取り扱わせる際も覚書等で保護の徹底を行っている。また、教職員には規程の遵守はもとよりインターネット使用時の暗号化なども徹底している。学生の個人情報を利用する場合には、教職員より学生に趣旨を説明し、文書にて承諾を得た上で個人情報を取り扱っている。</p> <p><b>ハ. 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか</b></p> <p>「自己点検・自己評価委員会」を設置し、私立専門学校等評価研究機構の基準により点検、評価を行っている。</p> <p><b>ニ. 自己評価結果を公開しているか</b></p> <p>自己評価表は、ホームページに公開するとともに、学校関係者評価委員会で報告し、評価を受け、その結果をホームページに公開している。</p>

	<p>以上について、基準についての自己評価は委員からは「妥当」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 自己評価の実施と問題点の改善に関して、外部委員の意見も交えて本格的に改善に努めていただきたい。</p>
<p>基準 10 社会貢献・地域貢献</p>	<p><b>イ. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか</b>          教師・高校生対象の各種無料講座を実施している。</p> <p><b>ロ. 学生ボランティア活動を奨励、支援しているか</b>          学生のボランティア活動を奨励、支援し、その活動状況を把握し評価している。          学生による近隣清掃を行っており、近隣住民からも好評である。</p> <p><b>ハ. 地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか</b>          高校生対象や高校教師対象の各種無料講座を行っている。</p> <p>以上について、基準についての自己評価は委員からは「妥当」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 現在、学生へのボランティアの奨励、支援を行っているか。  <b>【回答】</b>現在は夏期・冬期休暇において、教職員が学生にボランティア活動を推奨するという形にとどまっている。今年度においては、主体的に能登半島地震のボランティア活動を行っている学生が複数名いる。今後は、愛知県内で参加できる活動を調査し、スポーツイベントや介護施設・児童養護施設などのボランティアに参加させることを検討したい。</p> <p>(2) 地域貢献という点で、ボランティア活動以外にほかに実施している活動はあるのか。  <b>【回答】</b>教職員による、高校生向けの無料の公務員受験対策講座および講習会、高等学校教職員向けの指導者セミナーなどを定期的に行っている。今後は、指導者セミナーだけではなく、一般の外部向けセミナーも検討したい。</p>

〔総括的な意見〕

「学生から信頼され支持される学校づくり」という学園の基本目標を達成するため、教職員が一丸となって学校運営がされており、その成果として就職や資格取得で実績が出ていると感じたので、これからも継続して取り組んでほしい。今後は、学生が卒業後も社会で活躍できるような人材育成にさらに傾注してほしい。